



第48回 ジャパンウィーク® 2023年 スペイン・セビリア 2023年11月18日(土)～11月23日(木) 事業報告書

助 成



公益財団法人 JKA

主 催



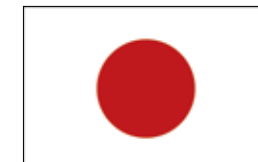
公益財団法人 国際親善協会

〒112-0003 東京都文京区春日2-10-15志知ビル4階
TEL : 03-5802-0351 FAX : 03-5802-0353

E-mail info@iffjapan.or.jp
URL https://www.iffjapan.or.jp



TURESPAÑA



Embajada del Japón en España

NO8DO
AYUNTAMIENTO DE SEVILLA



競輪の補助事業

この事業報告書は、競輪の補助を受けて制作しました。
<https://www.jka-cycle.jp/>



ご挨拶

本年度第48回ジャパンウィークは昨年の第47回プレ・ジャパンウィークに続きスペイン・セビリアにて開催を致しました。新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響等により初めて2年連続して同一都市での開催を致しましたが、延べ6日間の開催で約15,000人のセビリア市民の方々にご来場を頂きました。

日本伝統芸能、文化の紹介を通して、セビリア市の皆様と草の根レベルの文化交流が出来たことは非常に感激深いものがあり、改めましてスペイン・セビリア市における日本文化への関心の高さを実感致しました。そして次回2024年第49回フランス・コルマル開催に向けて大きく前進する事が出来た事をご報告させていただきます。

最後になりますが、ジャパンウィークの開催にあたり多大なご支援・ご協力を頂きました両国実行委員の皆様、セビリア市、在スペイン日本国大使館、並びに運営を支えて頂いております数多くのボランティアの皆様に対し重ねて厚く御礼を申し上げますと共に、今回のジャパンウィークを契機に益々両国間の国際交流、相互理解の促進の一助となれば幸いです。

イベント概要

開催地	スペイン王国・セビリア市
開催期間	2023年11月18日（土）～11月23日（木）6日間
開催規模	参加者370人 見学者15,000人
主催	公益財団法人 国際親善協会
開催国側主催	スペイン王国・セビリア市
後援	在スペイン日本国大使館、国土交通省、文部科学省、農林水産省、スペイン政府観光局、セビリア市観光局、日本政府観光局（JNTO）、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会
助成	公益財団法人双日国際交流財団、公益財団法人JKA
協賛	日本航空株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社ミキ・ツーリスト、株式会社ブランドゥ・ジャパン、株式会社日本旅行

参加団体一覧

北海道	一般社団法人日本風呂敷文化協会 公益社団法人北海道観光振興機構	富山県	瀬尾学園総合カレッジSEO 松本音楽スクール 瀬尾学園総合カレッジSEO料理 瀬尾学園総合カレッジSEO水引
岩手県	フラメンコダンサー中田佳代子&東北”メンバーズ	福井県	福井おむすび同好会
宮城県	ドミンゴ ヒロシ 宙色Japan 「墨間」展	山梨県	マウントフジツーリズム
山形県	四面楚歌	長野県	結音の会 竹空会
群馬県	齋藤よう子バレエ・スタジオ	静岡県	富士宮市
千葉県	Classic Ballet Coppelia 陶貴の会	愛知県	三ヶ根宣伝社
東京都	三味道 神夜舞Presents 現代の吟遊詩人 須田隆久 日本に恋したフラメンコ 剣伎衆 かむみ 小林 未郁 三味線ラボ 株式会社アルファネオ 鈴木 亜理 池依 依依 お茶目倶楽部 表千家花乃会 ゴルフツーリズム推進協会 日本のホテル（日本旅行協定旅館ホテル連盟）	三重県	四日市鍋パーティー
神奈川県	剣舞 凌雲館 SHUHALLY	大阪府	踏匠嬢 日本キャップ投げ倶楽部 大阪学院大学 上西恵子フラメンコスタジオ ラ・グラナダ
新潟県	新発田市観光振興課	奈良県	福谷 優
		山口県	山口大学落語研究会
		福岡県	ミキファニット グランチア 九州観光機構
		宮崎県	ひなたあん
		沖縄県	Soluna 八重山古典音楽研究会 沖縄観光コンベンションビューロー
		ITALIA	Chanoyu Vicenza
		SPAIN	Alain de Sirius

合計52団体

実行委員会

日本側		
実行委員長	鶴保庸介	参議院議員／公益財団法人 国際親善協会 会長
名誉顧問	中前隆博	在スペイン日本国大使館 特命全権大使
理事	西澤敬二	損害保険ジャパン株式会社 取締役会長／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	坂井辰史	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	中野星子	日本航空株式会社 執行役員／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	小谷野悦光	株式会社日本旅行 代表取締役社長／公益財団法人 国際親善協会 理事
事務局長	石崎浩之	公益財団法人 国際親善協会 常務理事

（順不同）

スペイン側		
実行委員長	José Luis Sanz Ruiz（ホセ・ルイス・サンツ）	セビリア市長
理事	Álvaro Jesús Pimentel Siles（アルバロ・ヘスス・ピメンテル・シレス）	セビリア市副市長
理事	Ángela María Moreno Ramón（アンジェラ・マリア・モレノ）	セビリア市観光政策代表
理事	Antonio Castaño（アントニオ・カスターニョ）	セビリア市観光局局长
理事	Juanjo Domínez（フアンホ・ドミンゲス）	セビリア市議会観光局長
理事	Rafael Rivas（ラファエル・リベス）	セビリア市国際会議場Fibes総支配人
理事	Beatriz Arilla（ベアトリス・アリージャ）	セビリア市観光局部長

1. ジャパンウィーク運営組織について

ジャパンウィーク2023年スペイン・セビリアは日本・スペイン両国に各々実行委員会を組織し、日本側は鶴保庸介公益財団法人国際親善協会会長が実行委員長を務め、スペイン側はホセ・ルイス・サンス市長を実行委員長とし、両国事務局互いの協力のもと開催会場の選定やPR活動・各種イベントなどを協議して参りました。開催会場については各プログラムの主旨をセビリア市に理解いただき、市内中心部に各イベント会場を用意いたしました。

本来は2020年に開催予定でありましたがコロナウイルス感染症の影響により延期の期間を経て、2022年にはPreイベントを実施し、開催準備を進めて参りました。その間、市長選挙による市長の交代や施設の老朽化による会場変更等はあったが、事前の計画通り開催を迎える事が出来ました。

日本側では常にコロナ禍の状況を見極めながら参加団体とのプログラムに関しての打合せ、荷物の輸送方法、公式行事や訪問交流先の調整など数多くの業務をこなして参りました。また、セビリア側では各参加団体が日本と同様に公演・展示が出来るように多くのボランティアの募集や各種許可の承認、取得にご尽力をいただきました。

2. 公式行事と各プログラム

公式行事は11月19日15:30よりセビリア市中心部のサンフランシスコ広場での特設ステージにてオープニングフェスティバル、同日17:45からはセビリア市が日本の参加者を歓迎するウエルカムレセプション、同日20:00からカクテルレセプションがカジノ・デラ・エクスポジションにて開催された。各プログラムについては商談会が11月16日にマドリード・ホテルプリンセサプラザ、展示が18日から22日までカジノ・デラ・エクスポジション、茶道実演が18日から20日までアルガバ侯爵宮、舞台公演が20日から23日までパテ劇場にてそれぞれ開催された。訪問交流プログラムについては、学校は5団体、老人活動施設は4団体、バレエ教室には2団体が参加し、各団体ともに心のこもった草の根交流となった。

3. 在スペイン日本国大使館のご尽力とボランティアの活躍

今回のジャパンウィークが成功裏に終了する事が出来たのはひとえにセビリア市及び関係各所との調整にご尽力を頂きました中前隆博在スペイン日本国大使館特命全権大使をはじめとした大使館の皆様のご協力による賜物であります。

また、今回もセビリア市在住の日本人の皆様、日本語学習者や日本文化に興味のあるセビリアの皆様等延べ100人以上の方々にボランティアとして参加いただき、朝早くから夜遅くまで各会場にて運営スタッフの一員として協力いただきました。中にはジャパンウィークの主旨に賛同し遠方より参加していただいた方もおりました。このようにボランティアの皆様の協力無くして、ジャパンウィークは実現できなかったと言っても過言ではありません。



4. スタッフおよびご協力をいただいた方々

セビリアでのジャパンウィーク開催が決定してからイベントが終了するまで、以下の方々に実務上のきめこまやかな打ち合わせと準備で大変ご協力いただき、今回のジャパンウィークの成功へと導いていただきました。

セビリア市観光局
Ms. Rocío León
Ms. Paloma López
Ms. Maria Gallardo

コーディネーター
末藤みか
中村美和
アドバイザー
渡邉実

5. 広報・告知について

1. メディアでのプロモーション

- ①セビリア市運営のWebサイトで特設ページを作成してジャパンウィークをPR
- ②セビリア市運営のFacebook、Twitter、Instagram、LinkedInによるジャパンウィークPR
- ③セビリア市によるジャパンウィークのプレスリリースと登録者3,000人へのメールニュース配信
- ④国際交流基金マドリード、エスパルティーナ市のFacebookでのジャパンウィークPR

2. 開催期間中のメディア掲載

- 開催期間中に各種メディアでジャパンウィークが取り上げられた。
- ・新聞ABC MIERCORLES、Diario de Sevilla、sevilla actualidadでの掲載
 - ・テレビ局Canal Surでのニュース番組での放送
 - ・ラジオ番組hoy por hoyでの放送
 - ・各種インターネットニュースサイト

3. PRツール作成

- ・セビリア市内62カ所に11月10日から24日の間、ジャパンウィークのPR看板を掲出
- ・セビリア市内5カ所に11月10日から24日の間、ジャパンウィークのデジタル看板を掲出

オープニングフェスティバル



日 時 2023年11月19日（日）
15:30～17:00 パフォーマンス
17:00～17:30 セレモニー
17:30～17:45 パフォーマンス

場 所 サンフランシスコ広場特設ステージ

観 客 数 約4,900名

日 本 側 中前隆博 在スペイン日本国特命全権大使、福岡雄二 公益財団法人国際親善協会会長代理／株式会社日本旅行執行役員、坂井辰史 株式会社みずほフィナンシャルグループ特別顧問／公益財団法人国際親善協会理事、中野星子 日本航空株式会社執行役員、José Japón 在スペイン日本国大使館セビリア名誉総領事、池依依依 文化親善大使

スペイン側 Álvaro Jesús Pimentel Siles（アルバロ・ヘスス・ピメンテル・シレス）セビリア市副市長、Juan Bueno（ファン・ブエノ）セビリア市議会財務・観光・市民参加・デジタルトランスフォーメーション担当議員、Ángela María Moreno Ramón（アンジェラ・マリア・モレノ）セビリア市観光政策代表、Antonio Castaño（アントニオ・カスターニョ）セビリア市観光局局长、Juanjo Domínez（ファンホ・ドミンゲス）セビリア市議会観光局長、Manuel Cornax（マヌエル・コルナックス）セビリア・ホテル経営者協会会長、商工会議所代表、Rafael Rivas（ラファエル・リベス）セビリア市国際会議場Fibes総支配人

参 加 者 鼓舞書、ミケ根宣伝社、一般社団法人日本風呂敷文化協会、三味道&三味線ラボ、小林末郁、Soluna、四面楚歌、剣伎衆 かむゐ、富士宮市、日本に恋した、フラメンコ&須田隆久 12団体

第48回ジャパンウィークのオープニングはサンフランシスコ広場でのパフォーマンスから始まりました。

トップバッターは鼓舞書。和太鼓による舞と書の融合で観衆の注目を一気に集めました。続いてはミケ根宣伝社。目を引く衣装に写真撮影を希望するお客様も多くいらっしゃいました。三番手は日本風呂敷文化協会。風呂敷を様々なものに变化させる技に、観衆からは驚きの声が続きました。四番手は三味道・三味線ラボ。厳かな雰囲気が始まるも、最後の着物で踊る「恋するマカレナ」で観衆を沸き立たせました。五番手は小林末郁。世界中に固定ファンを持つ彼女。観衆はその透き通った歌声に聞き入りました。六番手はSoluna。沖縄とフラメンコのコラボという異色の世界観で人々を魅了しました。七番手は山形大学花笠サークル四面楚歌。澆刺とした踊りで花笠音頭の魅力を十分に伝えてくれました。八番手は剣伎衆かむゐ。圧倒的なパフォーマンス力で皆さんをステージに釘付けにしました。九番手は須藤富士宮市長のお言葉に続き、東京オリンピック空手金メダリスト、サンドラ・サンチェス選手と、琵琶奏者須田隆久氏のコラボステージ。これまでの雰囲気から空気を一転させました。

続いて行われたセレモニーでは両国代表団の紹介の後、セビリア市副市長、中前特命全権大使のスピーチ、そして鏡開きが行われました。

ラストは須田隆久&着物セビジャーナスのパフォーマンス。

琵琶とフラメンコのコラボで会場は大いに盛り上がり、オープニングフェスティバルは終了しました。

ウェルカムレセプション

日 時 11月19日（日）
17:45～19:00 ウェルカムレセプション
20:00～21:00 カクテルレセプション

会 場 ウェルカムレセプション セビリア市庁舎・コロンの間
カクテルレセプション カジノ・デラ・エクスポジション

参加団体 41団体（参加証書授与団体数）

日 本 側 鶴保庸介 参議院議員／公益財団法人国際親善協会会長、中前隆博 在スペイン日本国特命全権大使、福岡雄二 公益財団法人国際親善協会会長代理／株式会社日本旅行執行役員、坂井辰史 株式会社みずほフィナンシャルグループ特別顧問／公益財団法人国際親善協会理事、中野星子 日本航空株式会社執行役員／公益財団法人国際親善協会理事、José Japón 在スペイン日本国大使館セビリア名誉総領事、池依依依 文化親善大使、石崎浩之 公益財団法人国際親善協会常務理事

スペイン側 Álvaro Jesús Pimentel Siles（アルバロ・ヘスス・ピメンテル・シレス）セビリア市副市長、Juan Bueno（ファン・ブエノ）セビリア市議会財務・観光・市民参加・デジタルトランスフォーメーション担当議員、Ángela María Moreno Ramón（アンジェラ・マリア・モレノ）セビリア市観光政策代表、Antonio Castaño（アントニオ・カスターニョ）セビリア市観光局局长、Juanjo Domínez（ファンホ・ドミンゲス）セビリア市議会観光局長、Manuel Cornax（マヌエル・コルナックス）セビリア・ホテル経営者協会会長／商工会議所代表、Rafael Rivas（ラファエル・リベス）セビリア市国際会議場Fibes総支配人、Beatriz Arilla（ベアトリス・アリージャ）セビリア市観光局局长

オープニングフェスティバルに続いて市庁舎コロンの間に開催されたウェルカムレセプションでは、日本からご参加いただいた41団体200人を超える方々にセビリア副市長、鶴保庸介国際親善協会会長、中前隆博在スペイン日本大使館特命全権大使から参加証書が手渡され、記念撮影が行われました。

コロンの間には一度に入場できる人数に限りがあったため、サンフランシスコ広場に臨時受付を設置し、参加者を展示及び茶道グループ、自治体（及び舞台の一部）グループ、舞台グループと、その参加カテゴリーごとに3グループに分けさせて頂き、各グループごとに授与・撮影を行わせて頂きました。終了したグループはそのまま退室、カクテルパーティー会場であるカジノ・デラ・エクスポジションへの移動をご案内いたしました。

最後の舞台グループへの授与・撮影が終了したのち、その皆様には会場に残って頂き、式典を開催いたしました。

式典では日本及びスペイン両国代表者の紹介に続き、セビリア副市長からのスピーチ、鶴保国際親善協会会長からのスピーチが行われ、最後に両国にて記念品の交換を行い、両国参列者からの温かい拍手に包まれてウェルカムレセプションは終了しました。

その後、展示会場であるカジノ・デラ・エクスポジションに移動し、セビリア市主催でご用意いただきましたワインやカナッペ等を楽しみ、歓談のひとつを過ごした。また、セビリア市側から演奏者が音楽を奏で参加者を歓迎し、日本側の参加者の即興ステージも披露され、ジャパンウィークの幕開けとして楽しいひと時を過ごした。



舞台公演

日時 11月20日（月）～23日（木） 4日間
場所 パテ劇場
入場者数 約1,040名

前年に引き続き、セビリア市内のパテ劇場にて11月20日（月）～23日（木）の4日間舞台公演を実施しました。公演前の事前予約は収容人員の約半数でしたが、公演前日にサンフランシスコ広場で行われたオープニングセレモニーは大いに盛り上がり、直後から一転して事前予約は全ての日程で満席となりました。

入場開始前より既に劇場前では待機列が出来はじめましたが入場はスムーズに行われ、21時定刻で開始され、平日にもかかわらず多くの方が最後まで公演を楽しんでいただくことができました。

公演は、日本伝統楽器の箏、尺八などとピアノ演奏のコラボレーションから三味線演奏、沖縄音楽といった文化的な楽器と舞を取り込んだもの、フラメンコを和洋折衷でアレンジされた演目、さらには落語、日本の故郷の歌、風呂敷パフォーマンス、日本独自の剣舞など、連日多士済々で豊かなバリエーションでお届けすることができ、舞台上に上がって一緒に踊る人も現れるなど熱気を包んだものとなりました。

演目を終えた時には、スタンディングオベーションの拍手も巻き起こり、出演団体の方々も感極まり、涙を流す場面も見受けられ、忘れられない時間を共有できたようです。

日本文化のファンの方で、連日事前予約をして毎日来場いただいているという方もいて、セビリア市民の皆様楽しんでいただき、4日間の幕を閉じました。

日本とセビリア、これからの国際親善への新たな礎となりました。

1日目
公演時間 11月20日（月） 21:00～24:00
参加者 ①瀬尾学園総合カレッジSEO ②山口大学落語研究会 ③ミキファニット グランチア ④八重山古典音楽研究会 ⑤結音の会・竹空会 ⑥松本音楽スクール ⑦三ヶ根宣伝社

舞台公演初日は予約が埋まっている中、『瀬尾学園総合カレッジSEO』による日本伝統和楽器「箏」の演奏で幕を開けた。続いて『山口大学落語研究会』による日本の古典芸能「落語」をスペイン語で披露し、観客からは大いに笑いが起こった。『ミキファニット グランチア』は50歳以上のメンバーによるチアダンスを披露し、観客を巻き込んで一体感が生まれた。『八重山古典音楽研究会』は日本の最南端に位置する八重山諸島に伝わる沖縄民謡を三線と唄で披露。『結音の会・竹空会』は日本古来の楽器である「琴」「尺八」に加えピアノとの合奏で観客を魅了した。『松本音楽スクール』はピアノ演奏と日本舞踊を組み合わせたパフォーマンスで観客を引き込んだ。初日最後の公演は『三ヶ根宣伝社』による「チンドン屋」パフォーマンス。日本独特の宣伝活動パフォーマンスでジャパンウィークの幟旗を高々と掲げると共に観客も舞台に上がって一緒に踊る等、会場に一体感が生まれた。



2日目
公演時間 11月21日（火） 21:00～24:00
参加者 ①三味線ラボ ②山口大学落語研究会 ③(一社)日本風呂敷文化協会、④齋藤よう子バレエ・スタジオ ⑤Soluna ⑥四面楚歌 ⑦三味道 ⑧踏匠嬢

舞台公演2日目も予約が埋まっている中、『三味線ラボ』による息が合った三味線の演奏で開演。初日にも好評だった『山口大学落語研究会』は1日目同様、スペイン語での「落語」でこの日も大いに観客の笑いを誘った。『日本風呂敷文化協会』の日本の伝統文化である「風呂敷」を使ったパフォーマンスは興味深く見入っており、観客を魅了した。『齋藤よう子バレエ・スタジオ』は、日本で有名な長編物語「源氏物語」の朗読を行い、日本独特の雰囲気観客に味わって頂いた。『Soluna』は、沖縄で活動するラテンユニット「Soluna」とフラメンコという前例のないコラボで圧巻のライブパフォーマンスを披露し観客を魅了した。『四面楚歌』は山形大学の学生達によるキレのある花笠踊りで会場を沸かせた。『三味道』はジャパンウィークのために結成されたグループで三味線による合奏を披露し、スペインでお馴染みの曲演奏では会場が一体化した。2日目最後は、『踏匠嬢』による日本の着物と沖縄民謡そして洋の文化のタップダンスを組み合わせたパフォーマンスを行った。

3日目
公演時間 11月22日（水） 21:00～23:30
参加者 ①フラメンコダンサー中田佳代子&東北“メンバーズ” ②剣舞 凌雲館 ③神夜舞Presents ④ドミンゴ ヒロシ ⑤剣伎衆かむゐ+小林末都 ⑥須田隆久

舞台公演3日目は来場者数が一番多かった公演日でスタートから大いに盛り上がった。『フラメンコダンサー中田佳代子&東北“メンバーズ”』は日本の伝統的な「津軽民謡」とフラメンコを融合させた圧巻のパフォーマンスで会場は拍手喝采となった。『剣舞 凌雲館』は日本のサムライによる剣舞と殺陣パフォーマンスで観客を魅了した。『神夜舞Presents』は神夜舞（かみやぶ）キモノ創始者、フラメンコ指導家として活躍する上鮎よう子（かみやぶ ようこ）氏がプロデュースした、ベリーダンス、扇子舞、能楽、琵琶演奏をフラメンコと掛け合わせたオリジナル演目で観客を引き込んだ。『ドミンゴ ヒロシ』はギターの弾き語りで「日本の歌」を披露し、観客に「日本の心」を分かり易く感じてもらい、会場全員で合唱するなど、温かい雰囲気包んだ。『剣伎衆かむゐ+小林末都』は日本のサムライとピアノライブでのコラボ演出。海外でも絶賛されているサムライアーティスト「かむゐ」と、シンガーソングライター小林末都氏による圧巻のパフォーマンスで、観客を魅了し、拍手喝采が止まなかった。3日目最後は『須田 隆久』氏が日本の伝統楽器である「琵琶」の演奏を披露。今回はフラメンコ男性舞踊家、永田 健氏とのコラボによるフラメンコ舞踊と琵琶語りをを行い、会場は大興奮の中、幕を閉じた。

4日目（最終日）
公演時間 11月23日（木） 21:00～23:30
参加者 ①Alain de Sirius ②Classic Ballet Coppelia ③小林末都 ④日本に恋した、フラメンコ ⑤剣伎衆かむゐ

舞台公演最終日も予約が埋まっている中、『Alain de Sirius』による「日本とスペイン」をサムライとフラメンコで表現したパフォーマンスで開演。『クラシックバレエ Coppelia』は日本の伝統芸能とベリーダンスのコラボを披露した。そしてシンガーソングライター『小林 末都』氏によるピアノ弾き語りでのライブパフォーマンスでは、その圧倒的な歌唱力で観客を魅了し、曲が終わると盛大な拍手に会場が包まれた。『日本に恋した、フラメンコ』は和とフラメンコを融合したアレンジでの演目。フラメンコ男性舞踊家、永田 健氏を中心として和装でセビジャーナスを踊るパフォーマンスで観客を魅了し、会場を大いに盛り上げた。最終日の最後は『剣伎衆かむゐ』によるパフォーマンス。海外から絶賛された圧巻のサムライライブパフォーマンスを披露し、観客にもサムライを体験させるパフォーマンスも行う事で会場全体の熱気が最高潮に達し、拍手喝采の中、舞台公演の幕を閉じた。



| 瀬尾学園総合カレッジSEO |



山口大学落語研究会



松本音楽スクール



ミキファニット・グランチア



三ヶ根宣伝社



八重山古典音楽研究会



三味線ラボ



結音の会・竹空会



一般社団法人 日本風呂敷文化協会



| 齋藤よう子バレエ・スタジオ |



| 踏匠嬢 |



| Soluna |



| フラメンコダンサー中田佳代子&東北”メンバーズ” |



| 四面楚歌 |



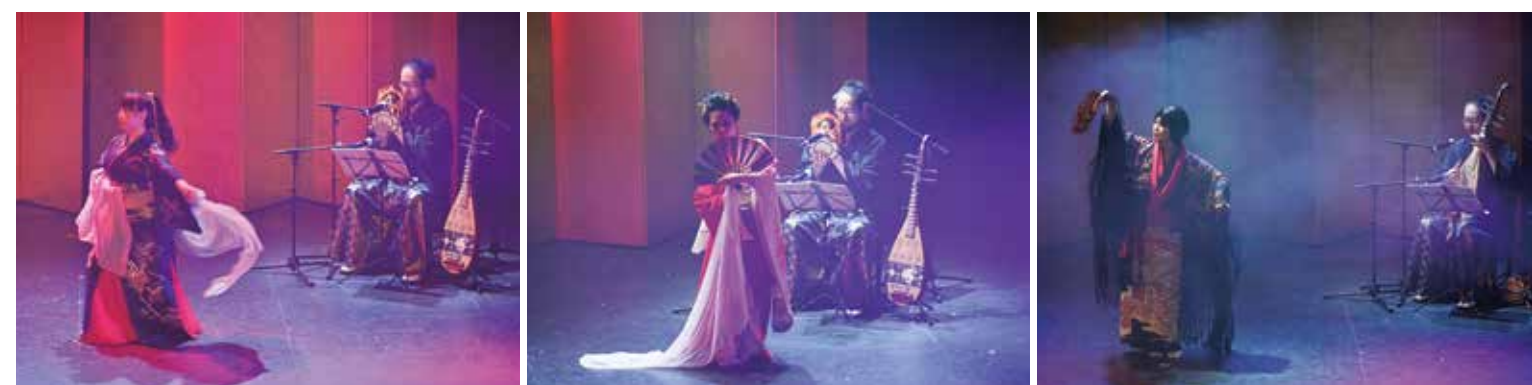
| 剣舞 凌雲館 |



| 三味道 |



| 神夜舞Presents |



| ドミンゴヒロシ |



| Classic Ballet Coppelia |



| 剣伎衆かむゐ & 小林未郁 |



| 小林未郁 |



| 現代の吟遊詩人 須田隆久 |



| 日本に恋した、フラメンコ |



| Alain de Sirius |



| 剣伎衆かむゐ |



展示・実演

日時 11月18日(土)～22日(水) 5日間
場所 カジノ・デラ・エクスポジション
観客総数 約8,250名

開催した展示会場は、セビリア市中心部にあり1929年イベロ・アメリカ博覧会の会場としてバレンシアの著名な建築家によって建設された。今回5日間の日程で実施し、週末・平日とも例年以上の来場者数で盛況となった。会場の形状とレイアウトがマッチしており来場者からも見やすいと好評であった。出展団体の内容(絵画／書道／茶道和菓子／お鍋／陶芸／折り紙／和食と水引／おにぎり／キャップ投げ等)もバランスが取れ興味を引いていた。

多目的スペースでは、劇場出展者が劇場さながらの演舞で、展示会場全体の華やかさに花を添える形となった。又、今回の特徴として自治体(富士宮市／マウントフジツーリズム等)は日本酒試飲／着物着付け体験／抹茶等連日の盛況でアピールにたいへん効果があったと好評であった。

<団体数>
 23団体



株式会社アルファネオ

日本・セビリアの文化交流展として、全国で活躍している作家の中より厳選した絵画作品・立体作品全66点を出張して、展示会場の中核を飾る発表会となった。格式のある展示会場「カジノ・デラ・エクスポジション」の約半分近くを彩る、バラエティ豊かな絵画や立体作品は日常では見られない個性にあふれたユニークなものが多く、その様々な表現を目の当たりにして、立ち止まってじっくりと鑑賞にふけるセビリア市民の姿が印象的であった。



日本キャップ投げ倶楽部

例年参加しているキャップ野球協会は、本年は一般社団法人となり一層幅広い層のメンバーでの参加となり会場を盛り上げていた。展示場内専用ブースではペットボトルのキャップを指ではじき、的に当てる競技形式のワークショップを実施。初めて経験される来場者でも、自然に入り込める単純明快なルールは分かりやすく、垣根無く参加出来て会場は喚起の声でいっぱいになった。又、展示場屋外で行われた、ビニールバットを使用したキャップ野球競技ではサッカーの国らしくらぬ程、来場者は野球をよく知っていて積極的に楽しんでいた。



瀬尾学園総合カレッジSEO料理

総合カレッジSEOは創立記念事業としてジャパン・ウィークに参加した。展示・実演部門には、日本料理と水引をテーマに参加し、一つ目のコンテンツとして日本料理「お節料理」を通じて日本料理の奥深さや美しさ、その歴史的な背景を紹介し、来場者はその華やかさに魅了されて、常に出展ブースは賑わいを見せていた。特にお箸を使った「豆つかみ体験コーナー」では、箸の文化を身をもって体験され、成功するとお箸の景品が貰える事もあり、歓声や笑い声が絶えず、盛り上げを見せていた。



鈴木 亜理

日本刺繍の技法や伝統工芸の染色技法等を用いた創作刺繍アートを1点、全日程を通して展示した。生活の中に色づく自然や景色を通して感じる感覚の世界を日本刺繍における数種類の技法を組み合わせ得られる立体感、質感を用いて表現した作品は、来場者の誰もが立ち止まって時間をかけて鑑賞していた。日本刺繍の技法を伝承し表現するこのユニークな作品は、国境を越えて感動と文化の相互理解を一層推し進めるものとなった。



瀬尾学園総合カレッジSEO水引

古来からの日本の贈答ラッピング文化である水引を日本を代表する芸術の一つとして紹介した展示・実演・ワークショップは大変な人気であった。その雅な素材で織りなす造形美のオブジェなどの展示作品は、特に女性を中心に人気で、日本独特の繊細な作業である水引創作体験は、大人から子供まで興味津々で、夢中になって取り組んでいた。まさに「人と人を結び付ける」という水引の意味あい通りの、国際交流になった。



ひなたあん

四千年前に誕生した、漢字のルーツとなる古代文字の造形の神秘と美しさを多くの人に伝え、そのエネルギーを世界に届けるために参加。本来の文字の成り立ちや込められた意味を伝え、世界の万物は皆つながっていることを実感してもらうように、全日程5日間作品を展示した。来場者自身も筆を持ち自身の名前を漢字の当て字で書くワークショップが実施され、連日にぎわっていた。又、多目的スペースでは、出展者による大筆書道パフォーマンスが連日実施され、希望者へ出来上がった作品がプレゼントされた。



四日市鍋パーティー

土鍋と鍋料理の紹介を通じて、日本を代表する冬の家庭料理である鍋料理を伝えるプロモーションを実施した。四日市は、国産土鍋シェア日本一の土地柄で、いろいろな種類の土鍋が製造されており、日本人に愛されている鍋料理文化を世界に発信し、その可能性を広めたいとの思いからJAPAN Weekへの参加となった。老若男女がブースに立ち寄られ、展示品や動画を熱心に見たり、パンフレットを読み込む姿もあった。また詳細な質問をする姿も見られ、その関心の高さを実感した。



Chanoyu Vicenza

イタリアのピチェンツァにて茶道教室「Chanoyu Vicenza」を設立し、独自のテーブル茶道や和菓子作りの普及を行っている。今回ジャパンウィークへはそのヨーロッパへの普及の為に参加した。来場者はカジュアルなテーブルスタイルの茶道の実演や体験、和菓子作りの実演や実食を通して、新しい形の茶道の神髄に触れ、同時に新しい着物スタイルなども楽しんで大いに盛り上がった。



「墨間」展

宙色Japanの関係団体として、コラボで参加。日本の伝統画材「墨」の伝統を守り、新しい技術と知識を融合させ、現代の暮らしに生かし楽しむ事をテーマとしたキューブ状の作品を中心に出展した。『墨』にまつわる様々な作品を柔軟で制限のない発想でリメイクし、伝統芸術を現代の暮らしに活かす手法は、現代アートの本場スペインの人々の心をつかみ、立ち止まって熱心に見入る姿がとても印象的であった。



福谷 優

異なる素材を組み合わせさせて貼り合わせる、コラージュ技法を使用した奇抜で大胆なアートを1点、全日程を通して出展した。いつもと違う材料や技法を使って、手探りながら今までと違う表現が出来ればと思い制作された。題材は静岡県掛川市の公園に展示されている、1938年製蒸気機関車C5849を描いた作品で、現代アートに目の肥えたスペイン人の目をも引き、じっくりと鑑賞する人が絶えなかった。



福井おむすび同好会

福井の食材を使用して、日本の食文化を世界に発信している常連の参加。福井のブランド米、「いちほまれ」と福井の美味しい食材（福井梅、昆布へしこ、わかめ等）を組み合わせ、おむすびパフォーマンスで多くの来場者を魅了した。昨今の日本食ブームで、スペインでも「おむすび」の認知度は高く、今や日本食の代表格になっているような人気ぶりであった。又来場者自身による、おむすびを作る体験や別コーナーで実施された「折り紙の実演」もこのブースの人気に拍車をかけていた。



宙色Japan

宮城県仙台から参加した書道団体。東日本大震災復興と日本文化継承を目的に設立した当団体は、2015年に宙色JAPANを結成し、『墨』を通したユニークな国際交流を多数展開している。セビリアジャパンウィークには、昨年から2年連続の参加。展示は掛け軸、パネル、立体作品、及びプレゼントグッズなどをバラエティ豊かに展示し、書道アートの深さをアピールした。ワークショップは来場者の名前や好きな言葉を漢字に訳して、作家が書いてプレゼントした。希望者には自分でも書いて頂き、ブースは連日大盛況であった。



陶貴の会

イタリア、ギリシャに続いての参加となった。焼き物作りを主とし、形作りを主とし、陶芸が簡単に出来る身近なものである事を知ってもらいたいと思い参加との事。残念ながら、焼成が出来ないが、参加者自身が柄をデザインし制作する体験型ワークショップは大変な人気となった。参加者が作った器等は、水につけなければ小物入れなどで使用でき、そのまま持ち帰ってもらえる事も人気の一つだった。



新発田市観光振興課

新潟県新発田市から観光プロモーションで初めて出展。越後平野の北部に位置する美しい海岸、豊かな自然景観に恵まれた山岳地帯を持っている新発田市は、魅力的な観光素材を揃え、また肥沃な大地は県内有数の良質米コシヒカリやブランド牛「新発田牛」をはじめ、特産物の宝庫である。新発田の魅力を世界に届けるために、バラエティ豊かに、ポスター装飾やパンフレットの提供により、多くのスペイン人を魅了し、効果的なプロモーションを実施していた。



池依 依依

Japan Weekへ毎回参加している、常連の出展者。そのバラエティに富んだユニークな作風は、その表現方法の領域の広さに驚かされる。今回は全日程を通して油絵4作品を出展した。個性豊かな大胆で奇抜な表現は、来場した人々に様々な印象を与え魅了していた。一人一人が長い時間をかけて各作品をじっくりと味わうように鑑賞していた。



富士宮市

静岡県富士宮市から観光プロモーションで初めての参加。世界遺産富士山の登山口があるまちとして毎年多くの訪日観光客を迎えている。また東京2020オリンピック大会スペイン空手チームのホストタウンとして、現在に至るまで様々な交流を行って来た。セビリア ジャパンウィークにおいては、魅力的な4種の地酒の試飲や福引抽選会、名産静岡茶の試飲や観光動画の上映とパンフレット配布など、様々なコンテンツで盛り上げ、展示会場の中核的な出展となった。



大阪学院大学

大阪学院大学でキャンパスの国際化を進める役割を担っている公認サークル（Kokusai Center）で出展した。日々海外からの留学生たちと交流をしながら、日本での生活や学びをサポートして、国際親善を推進している。今回は日本からのヨーロッパ留学中の学生もセビリアに集い、日本の伝統的な遊び「おりがみ」を使った簡単にできる三角形のオブジェの制作を来場者と共同で行い、作品を自宅に持ち帰って頂いた。また、少しでも日本文化に触れてもらおうと思い、地元の老人ホームの方に、作品の一部を寄贈した。



マウントフジツーリズム

山梨県富士河口湖町から、観光プロモーションで初めての参加。同町は世界遺産富士山及び周辺観光の拠点として名高いが、他に西湖の畔に、訪日外国人に人気の観光施設「西湖いやしの里根場」を持つ。今回の出展では、その施設でも人気のコンテンツの「簡易着物着付け体験」や抹茶体験で町の魅力をアピールし、来場者に対して、インスタグラム拡散を条件に「和風鶴のイヤリング」を多数プレゼント等、豪華な出展メニューでセビリアの女性を中心に、連日大盛況であった。



日本のホテル（日本旅行協定旅館ホテル連盟）



北海道観光振興機構



九州観光機構



沖縄観光コンベンションビューロー



ゴルフツーリズム推進協会



茶道実演



日時 11月18日（土）～20日（月） 3日間
場所 アルガバ侯爵宮
入場者数 約400名

茶道は、セビリア市内のムデハル様式の象徴となっている宮殿、アルガバ侯爵宮で11月18日（土）～20日（月）行われた。事前予約制となっており3日間ともに事前予約で満席となった。慣れない正座にお抹茶と茶菓子を体験し、日本の文化に触れた来場者も、またその様子を見た参加者にも笑みがこぼれていた。

表千家 花乃会

11月18日（土）

一回20席、全6回のお点前披露と抹茶体験を行った。最初に行われたお点前披露では、来場者は真剣な眼差しで所作の一点一点を見つめ、掛け軸の説明に耳を傾けていた。回を重ねるたびに積極的に質問する方が増え、改めて日本の文化に興味を持って頂いていることを実感した。



お茶目倶楽部

11月19日（日）

一回22席、全6回のお点前披露と抹茶体験を行った。各回3名様にステージ上にて体験をしていただいたが、慣れない正座を崩すよう促すも日本の文化に少しでも触れようと我慢する人もいた。毎回希望者が競って手を上げ、また終了後は記念撮影希望者が列になって順番待ちをするなど、関心の高さがうかがえた。



SHUHALLY

11月20日（月）

一回22席、全9回のお点前披露と抹茶体験を行った。お点前の独特の緊張感の中、時折笑いが起きたり来場者の声が出たりして、和やかな雰囲気に包まれていた。来場者は、器などにも関心を示していた。7回目には、TV取材も入り、回によっては座席数を増やすほど、盛り上がりを見せていた。



交流プログラム

訪問交流プログラムの学校訪問については5団体、老人ホーム訪問については4団体、フラメンコ教室については2団体が参加し、各団体ともに心がふれあう交流を行った。

学校 COLEGIO SAN JOSÉ SCCC

日 時 11月20日 9:30~13:30

参加団体 一般社団法人日本風呂敷文化協会、四面楚歌、剣舞 凌雲館、三味道&三味線ラボ

参加者 公演鑑賞 生徒400名、ワークショップ 100名（3年生4クラス）+100名（4年生クラス）

セビリア市内にある私立のカトリック系の小中学校が授業の一環としてジャパンウィークの参加者の訪問を受け入れていただいた。まずは、学校での劇場で各団体の公演を披露した。約1時間の公演で4学年の生徒400人に幅広く日本文化を紹介した。その後体育館に移動し、クラス毎にワークショップを行った。各団体3年生4クラス4年生4クラスの計8回のワークショップを行い、生徒たちと交流を図った。4つの団体それぞれが異なり、内容のバランスが良く、舞台もワークショップも子供たちが大変喜んで学校から感謝された。



老人ホーム Residencia San Juan de Dios de Sevilla

日 時 11月19日 12:15~13:00 11月20日 11:40~13:00

参加団体 SHUHALLY、三ヶ根宣伝社、ドミンゴ ヒロシ、陶貴の会

参加者 施設入居者30人

セビリア市内中心部にあるカトリック系の老人ホームに2日間ジャパンウィークの参加者の訪問を受け入れていただき交流を行った。19日はSHUHALLYが訪問し、お茶会を開催した。入居者にはお茶の味は初めてで慣れない方もいましたが、セレモニー自体はとても興味深かったとのことでした。20日は3団体が訪問し、各団体がそれぞれ公演やワークショップを通じて日本文化の紹介を行いながら交流を図った。入居者からはそれぞれ大変楽しんだとの声が上がっており、三ヶ根宣伝社は各部屋を回っていただきお部屋から出られない方たちは大変興奮していたとのことでした。施設からはまた同じようなイベントをぜひ行って欲しい、又同じ系列の病院でも行ってほしいとリクエストがあるほど好評でした。



Maria Del Marフラメンコ教室

日 時 11月20日 18:00~19:00

参加団体 SOLUNA、Classic Ballet Coppelia

参加者 教室の生徒20人とその父兄

セビリア市のフラメンコ教室と交流を行った。先生のマリアデルマルはフラメンコプロミオナショナル舞踊家（フラメンコ国家賞）で訪日経験が何度もある親日家であることでジャパンウィークの参加者の訪問を受け入れていただき交流を行った。セビジャーナスを既に学んだ教室に通う5歳から10歳の子供20人とダンスや音楽を通じての交流を行った。2団体がそれぞれの演目を披露し、その後ワークショップを通じて交流を図った。参加者と一緒に子供達が踊り、とても興味深く楽しい交流だったと先生から感謝された。



観光物産商談会

1. 開催実施概要

日 時	11月16日（木） 11：00～20:00	後 援	在スペイン日本国大使館、国土交通省、文部科学省、農林水産省、 スペイン政府観光局、日本政府観光局（JNTO）、 独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（ジェトロ）、 一般財団法人自治体国際化協会、 一般財団法人地域伝統芸能活用センター、 全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、 全国市議会議長会、全国町村議会議長会
場 所	HOTEL PRINCESA PLAZA 商談会—ROSALES II & III カクテルレセプション—ROSALES I	協 力	国税庁・関東信越国税局
商談テーマ	【観光】地域の魅力、宿泊施設の魅力をPRして訪日団体旅行の誘客促進 【物産】現地輸入業者、関連業者に特産物をPRしてスペインへの輸出促進	協 賛	日本航空株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、 株式会社日本旅行、株式会社ミキ・ツーリスト、 株式会社ブランドゥ・ジャパン
日 本 側	【観光】自治体、日本の旅館ホテル、観光関連団体等 15団体／33名 【物産】自治体（日本酒のPR） 1団体／3名 【特別参加】JETROマドリッド事務所／3名		
スペイン側	合計40団体51名 【観光】アポイントメント商談—15団体／22名 旅行会社、インフル エンサー、一般団体 など 【物産】アポイントメント商談—4団体/4名 フリー商談—21団体／25 名 輸入業者、商社、レストラン、スーパー・土産店		

2. 開催プログラム

時間	観光商談 実施項目	物産商談 実施項目
10:00～11:00	事務局準備	
10:00～10:10	日本側セラー集合・受付	
10:10～10:20	日本側セラーブリーフィング（商談の進め方）	
10:45～11:00	スペイン側バイヤー受付開始	
11:00～11:10	主催者挨拶	
11:10～11:25	主催者プレゼンテーション 国税庁による日本酒の魅力紹介	
11:25～11:40	協賛団体プレゼンテーション	
11:40～11:45	司会より説明	
11:45～12:15	第1枠 マッチング商談（旅行会社）	第1枠 マッチング商談（輸入事業者A）
12:15～12:20	移動	
12:20～12:50	第2枠 マッチング商談（旅行会社）	第2枠 マッチング商談（輸入事業者B）
12:50～13:10	休憩	
13:10～13:40	第3枠 マッチング商談（旅行会社）	第3枠 マッチング商談（販売店A）
13:40～13:45	移動	
13:45～14:15	第4枠 マッチング商談（旅行会社）	第4枠 マッチング商談（販売店B）
14:15～16:15	昼休憩	
16:15～16:45	第5枠 マッチング商談（旅行会社）	飲食店向け フリー商談
16:45～16:50	移動	
16:50～17:20	第6枠 マッチング商談（旅行会社）	
17:20～17:25	移動	
17:25～17:55	フリー商談	
17:55～18:15	抽選会	
18:15～18:20	閉会挨拶・閉会	
18:30～20:00	レセプション	

3. 実施内容について

商談会は、セラー席を固定とし、1枠30分のアポイントメント商談を観光商談は6枠、物産商談は4枠実施した。

アポイントメント商談以外にもフリー商談の時間を設けた。商談会場は活気があり、ほとんどのテーブルが常に商談を行っている状態であった。当日欠席となったバイヤーも数社あったが、複数名で参加しているバイヤーに代替えとして商談に参加いただいた。アポイントメント商談以外にも、フリー商談や休憩の時間を上手く活用して商談を積極的に行うバイヤーが多数いた。

物産のフリー商談では富士宮市による日本酒のサンプリングが行われた。

全ての商談が終了後、セラーから募集した賞品の抽選会を行った。

抽選会の終了後、会場を移動してカクテルレセプションを行った。カクテルレセプション冒頭には、在スペイン日本国大使館北村参事官よりご挨拶いただき、終了時には日本旅行協定旅館ホテル連盟白石会長よりご挨拶を頂戴した。

カクテルレセプションは自由席とし、セラー・バイヤーが積極的に交流をしていた。富士宮市の日本酒のサンプリングを、カクテルレセプションでも実施した。

4. 商談先一覧

	日本側参加者	セッション1	セッション2	セッション3	セッション4	セッション5	セッション6	商談数
1	マウントフジツーリズム	PRESSTOUR VIAJES	Miki Travel	Ibero Japan	Camara de Comercio Hispano Japonsa	Nippon Travel Agency	Mundolimit	6
2	富士宮市	Miki Travel	PRESSTOUR VIAJES	Camara de Comercio Hispano Japonsa	Ibero Japan	ELVIRA ALDAZ（インフルエンサー）	Nippon Travel Agency	6
3	北海道観光振興機構	Ibero Japan	Camara de Comercio Hispano Japonsa	ロジャー（インフルエンサー）	Casanova Golf	Karisma tours	Descubre Viajes	6
4	北海道のホテル	Japan Airlines	Destinos Asiáticos	Miki Travel	Descubre Viajes	SIBONEY VIAJES	Karisma tours	6
5	山形県・新潟県のホテル	Europamundo Vacacioes	JTB VIAJES SPAIN, S.A.	Ibero Japan	Destinos Asiáticos	Camara de Comercio Hispano Japonsa	SIBONEY VIAJES	6
6	群馬県・長野県のホテル	Descubre Viajes	Europamundo Vacacioes	Nippon Travel Agency	Ibero Japan	Miki Travel		5
7	岐阜県・富山県のホテル	JTB VIAJES SPAIN, S.A.	Ibero Japan	Descubre Viajes	PRESSTOUR VIAJES		SIBONEY VIAJES	5
8	滋賀県のホテル	Descubre Viajes	Buceo en Japón	Destinos Asiáticos	Nippon Travel Agency	Ibero Japan	Camara de Comercio Hispano Japonsa	6
9	和歌山県のホテル	Buceo en Japón	ロジャー（インフルエンサー）	Japan Airlines	Europamundo Vacacioes	Descubre Viajes	Ibero Japan	6
10	岡山県・山口県のホテル	Destinos Asiáticos	Descubre Viajes	JTB VIAJES SPAIN, S.A.	Japan Airlines	Mundolimit	Miki Travel	6
11	九州観光機構	Camara de Comercio Hispano Japonsa	Ibero Japan	Casanova Golf	JTB VIAJES SPAIN, S.A.	Miki Travel	ELVIRA ALDAZ（インフルエンサー）	6
12	長崎県のホテル	Ibero Japan	Nippon Travel Agency	Europamundo Vacacioes	Descubre Viajes		Japan Airlines	5
13	沖縄観光コンベンションビューロー	Casanova Golf	Japan Airlines	Buceo en Japón	Karisma tours	Ibero Japan	GOLF CLICKER	6
14	沖縄県のホテル	Nippon Travel Agency	Casanova Golf	Descubre Viajes	Buceo en Japón	Japan Airlines	Miki Travel	6
15	ゴルフツーリズム推進協会	Casanova Golf		PRESSTOUR VIAJES	Miki Travel	GOLF CLICKER	Ibero Japan	5
16	富士宮市（物産）	Salvioni & Alomar	OTC Group	La bruja Viri	Vino & Compañia	飲食店レストランのフリー商談（12社13名）		4
合計商談数								90



マウントフジツーリズム



富士宮市



北海道観光振興機構



北海道のホテル



山形県・新潟県のホテル



群馬県・長野県のホテル



岐阜県・富山県のホテル



滋賀県のホテル



和歌山県のホテル



岡山県・山口県のホテル



九州観光機構



長崎県のホテル



沖縄観光コンベンションビューロー



沖縄県のホテル



ゴルフツーリズム推進協会



富士宮市



JETRO マドリード事務所

街頭広告

日時 11月10日（火）～24日（火）

場所 セビリア市内中心部4か所

参加団体 富士宮市、マウントフジツーリズム

セビリア市内の中心部に各2か所ずつ参加団体の街頭広告（サイズは高さ1.8m×幅1.2m）が掲出された。ジャパンウィークの開催にあわせて掲載され地域の魅力をプロモーションした。多くのセビリア市民の目に触れることになり、ジャパンウィークの展示ブースを訪れるきっかけとなった。



マウントフジツーリズム



富士宮市

編集後記

ジャパンウィーク開催にあたり、在スペイン日本国大使館、領事館、セビリア市、多くの現地関係者の皆様に趣旨をご理解いただき、ご尽力を賜りまして事、厚く御礼申し上げます。

また準備・運営に於いては現地コーディネーター、多くのボランティアの皆様の惜しみないご協力に対して深く感謝申し上げます。

今回は初めての取組と致しましてマドリードにて自治体様向け商談会のプログラムを実施いたしました。日本より国税庁、関東信越国税局様にもご協力を頂きましたこと併せて感謝を申し上げます。

最後に特別協賛を賜りましたスポンサー各社、セビリア市開催誘致よりご尽力を頂きました方々にも深く感謝申し上げ、本イベントが多くの皆様に支えられ無事開催出来ました事、全ての関係者の皆様に主催者として重ねて厚く御礼申し上げます。

次回はフランス・コルマルの地でお会いいたしましょう。